



信州大学 (長野県)



きめ細やかな指導体制、充実した地域とのふれあい行事。実践に則した日本語の習得が可能です。

■大学紹介

①大学の特色および概要

信州大学は1949年に設立された総合大学で、松本・長野・上田・南箕輪の4つの地域に8学部（人文、教育、経済、理、医、工、農、繊維）、8大学院研究科（人文科学、教育学、経済・社会政策科学、理工学系、農学、医学系、総合工学系、法曹法務）があり、学部学生9,406名、大学院生2,023名が学んでいます。その他に国際交流センター、山岳科学総合研究所、カーボン科学研究所などの教育・研究施設があり、教員数は1,147名となります。

本学は「信州」という日本国内で有名な山岳リゾートに位置しているため、その美しい自然と清冽なイメージに惹かれて全国から学生が集まっている大学です。キャンパスのある各地域は、豊かな自然環境と伝統ある教育環境に恵まれ、独自の発展をみせています。信州大学は、それぞれの地域の発展のために教育的にも経済的にも大きな働きをしており、日本の大学ランキングの「地域貢献度」では常に上位にランクされています。各キャンパスはネットワークシステムによって結ばれ、大学の一体化と研究情報の効果的な活用が図られています。



上高地 (Kamikouchi)

②国際交流の実績 (2011年5月1日現在)

海外の大学との学術交流協定

大学間協定：55大学 (18か国)

③過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2011年：留学生数 331人、日本語・日本文化研修留学生 1人

2010年：留学生数 354人、日本語・日本文化研修留学生 2人

2009年：留学生数 330人、日本語・日本文化研修留学生 1人



国宝松本城と留学生たち

④地域の特徴

長野県は日本国内でも有数の観光地で、日本のほぼ中央に位置します。日本語・日本文化研修留学生（以下、日研究生）が学習する松本キャンパスから東京までは電車で2時間半、名古屋までは2時間、京都までは2時間40分と大都市への移動も簡単です。また、アルプスの山々と高原に囲まれ、四季折々の景色が美しく自然豊かな地域です。そのため、国立公園や高原、山々など、自然の中に簡単に入って楽しむことができます。歴史を感じさせる古城や神社仏閣が多くあるほか、豊富な温泉も長野県の大らかな特徴の一つです。1998年に冬季オリンピックが開催されたように、冬はウィンタースポーツの中心地としても有名です。ぜひ信州に来て登山やスキー、スノーボードなどを楽しんだり、歴史のある街の散策を満喫してください。

■コースの概要

①コースの特色

信州大学では日本語や専門について丁寧な指導をするだけでなく、日本社会、日本文化についても学習指導を行っています。特に日本人と接し、一緒に参加するイベントが多くあり、体験を通じて日本文化への理解を深める方針です。また、日研究生が自国の紹介を行うことにより、日本人学生の国際理解進展につながり、多文化に関するディスカッション等お互いに刺激しあっています。それにより日研究生の出身国に留学する日本人学生が増え、また日研究生は再び信州に戻るなど好影響が見られます。これからの日研究生にも同様の活躍を期待しています。

②受入定員

4名（大使館推薦2名、大学推薦2名）

③受験希望者の資格、条件等

- ・日本人と一緒に授業が受けられる人
- ・辞書を引きながら日本語の資料が読める人
- ・自分の専門分野について日本語で説明できる人
- ・日本人と積極的に関わる人
- ・日本人に自国の文化を紹介する意志がある人

④達成目標

- ・自分の専門分野について日本語でのプレゼンテーションができること
- ・日本語での論文執筆ができること

⑤研修期間

2012年9月24日～2013年9月中下旬頃

⑥研修科目の概要

日本語能力が十分であれば、自分の専門の授業を受けられます。また、一般の留学生と同じ日本語や日本事情の授業も受けられます。さらに、日研究生専用の授業もあります。

以下は、日本語・日本事情科目の説明です。

1) 必須科目

- ・ Academic Japanese 3(16週32時間)： 専門に関する日本語論文執筆のための指導
- ・ 2学期目に共通教育科目、専門科目の中から3科目以上受講する。

2) 見学、地域交流等の参加型科目(16週32時間)

日本社会と日本人： 日本の企業や工場見学など
武道伝統文化実習： 茶道、琴、剣道、空手など

3) その他の講義、選択科目等

日本理解

日本語が中上級または上級レベルの学生を対象としたコース。中上級レベルの日本語学習の他、日本の社会や文化などについて学びます。

- ・ 授業科目例(16週32時間)

Academic Japanese 1: Presentation指導など

日本語・日本事情科目

日本語が上級レベルの学生を対象としたコース。

- ・ 授業科目例(16週32時間または64時間)

日本語(作文)、日本語(発表)、日本語(聴解・語彙)、日本語(読解)、科学技術日本語、日本事情(文化と日本語)、日本事情(日本の産業)

- ・ プレゼンテーション及び論文指導

日研生は帰国前に、自分の専門分野について多くの日本人の前で発表するプレゼンテーションを行います。このプレゼンテーションの指導は、構想段階から丁寧に指導しており、ハイレベルのプレゼンテーションが行われています。

国際交流センターが開講する授業については以下ホームページから詳しく調べることが可能です。

http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suic/upload/pdf/edu/11course_all.pdf

⑦年間行事

- 1月 日本料理&着物体験(武道伝統文化実習)
- 2月 後期修了発表会
- 4月 松本市内見学のバス・ツアー
- 8月 前期終了発表会
- 8月 全学国際交流旅行(1泊)
- 11月 国際交流同窓会

⑧指導体制

・指導教員

日研生は国際交流センターの所属となり、2人の専任教員が学業面・生活面について個別指導を行っています。

専任教員： 赤羽正雄教授・佐藤友則准教授

・協力教員等

専門分野の協力教員と連携して多岐にわたる専門の学習をサポートしています。

・チューター

日本人学生をチューターとして用意しています。チューターは来日時の煩雑な手続きや学習面、生活面の相談相手や、一緒に旅行するなど日研生を幅広くサポートします。

⑨コースの修了要件、修了証書の発行

通年で12科目14単位以上を取得し、2学期目の修了時に修了発表をすることが修了要件です。修了者には修了証書を授与します。同時に成績証明書を発行し、単位認定をします。



日本料理&着物体験の様子

■宿 舎

① 宿舎状況

国際交流会館や大学が管理するアパートを用意しており、キャンパスまで徒歩10分程度のところにあります。

② 宿舎費

国際交流会館単身室： 4,700円(光熱費、インターネット費用は別)

大学が管理するアパート： 30,000円(インターネット費用を含み、光熱費は別)

③ 設備

家電製品・ガスコンロ等が備わっています。身の回りのものだけ持ってくれば生活ができます。自炊可能です。

■修了生へのフォローアップ

信州大学への日研生の修了生とは、国際交流同窓会を通じて連絡を取り合っています。メールやニュースレターで情報のやり取りをし、東アジアで開催されている国際交流同窓会に招待しています。将来的には同窓会を欧州、東南アジアでも実施することを検討しています。

修了生の中には大学の教員になっている人もおり、その修了生の勤務する欧州の大学と信州大学の大学間交流協定締結が実現しました。

■問い合わせ先

○コース内容について

国際交流センター 佐藤友則准教授

E-mail: stomo@shinshu-u.ac.jp

○宿舎等その他について

信州大学国際交流課

〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1

TEL +81-263-37-2198

FAX +81-263-37-2181

E-mail: suic@shinshu-u.ac.jp

国際交流センターホームページ

<http://www.shinshu.ac.jp/institution/suic/>

信州大学ホームページ

<http://www.shinshu-u.ac.jp/>

※ホームページからの問い合わせも可



安曇野